2.　2023年　陥没地の定点観測実測値（単位：cm）

計測地点 / 計測日	①	②	③	④	備考
1月15日	133.5	99.5	83.5	71.0	季節により計測地点が、くずや笹で覆われるので、繁茂期には先に周辺の草刈りをしての測定となる。 地点の状態によっては、メジャーの当て方に影響し若干測定誤差が生じる。
2月19日	131.5	97.0	83.5	70.5	
3月19日	133.0	98.0	84.0	71.0	
4月16日	133.5	98.5	83.5	70.5	
5月21日	134.0	99.0	84.0	71.5	
6月18日	133.0	99.5	83.0	70.2	
7月16日	133.0	98.5	83.5	70.5	
8月	—	—	—	—	
9月17日	134.0	99.5	83.3	71.0	
10月15日	133.0	99.8	84.5	71.0	
11月19日	133.5	100.0	83.5	70.5	
12月17日	134.0	100.5	83.0	70.0	

【定点観測の経緯】
　陥没地前の散策路が通行禁止になっていたのを、市と交渉し通行可能にして頂いた際に、地殻変動の有無を定点観測する事を依頼されたもので、2022年5月から清掃ハイク時に計測を開始することになった。
　観測地点は4か所で、各所の距離を計測記録し市担当課に報告している。

3.　2024年　清掃ハイキング活動予定

○実施日時	毎月第3日曜日　14時～16時　（但し、8月はお休み）
○集合場所	豊島高校校門前
○持参道具	ヒバサミ等清掃具の他、森の手入れ作業具一式（都合により林床整備作業を行う場合がある）。
○清掃場所	草原基地を起点にして　①新御堂筋方面、②豊寿荘方面（外・内回り）　の2コース。
○作業報告	作業実施後は基地に集合し作業者から作業報告を受ける。　作業報告書作成（「雑木林通信」用記事）にもご協力ください。

【清掃ハイクの趣意】 現状は、ゴミ拾いのついでに自然観察をする格好になっていますが、本来は、島熊山の自然状態を観察し見守りついでに周縁の清掃活動もしようという趣意で始まった活動です。里山島熊山の自然をみんなの手で美しく守っていこうという一環の活動です。

【今年の方針】 ◆島熊山の自然（動・植物）の観察・見守りにウエイトを置きながら、安全に・楽しく・元気に清掃活動を行いましょう！
◆ヒバサミ他作業具一式は常に持参しましょう！　その日の人的余力或いは空き時間によっては森の手入れ作業を行う場合もあります。
（森の手入れ作業を行う場合は、作業エリアや内容等を指示できるよう事前調整しておく）
◆作業場所やメンバーが固定化しないよう、担当する清掃エリアやメンバーを適宜柔軟に組み変えて行ってみましょう！

3. ナラ枯れ対策班　土田 泰子

2023 年　ナラ枯れ対策　報告

5 月の総点検ということで集中的にナラ枯れ侵食部区の調査を行ったが、明らかに新しく侵食されていて弱っているものは確認できなかった。

また今年新しく枯れた木も、現在のところありません。昨年報告して伐採されていない木があるので、これを是非切ってほしいところです。→12 月 27 日に豊中市へ報告しましたが、切っていただけないとの事です。

落ち枝整理、草刈りなどを主に行いました。　6 月～9 月はお休み

今年の作業

2023/1/18	土田、西川	2	豊中市へ枯死木報告
2023/3/1	土田、西川	2	3 地区の林床整理
2023/3/8	土田、西川	2	3 地区の林床整理
2023/3/15	土田、西川	2	3 地区の林床整理
2023/3/22	土田、西川	2	3 地区の林床整理
2023/4/5	土田、西川、横山	3	3 地区の林床整理
2023/4/12	雨で中止		
2023/4/19	雨で中止		
2023/4/26	雨で中止		
2023/5/3	易、小泉清、小泉昌子、西川、米虫、土田	6	4 地区の調査
2023/5/17	土田、西川	2	5-1 地区の調査
2023/5/24	易、西川、横山、土田	4	5-2 地区２地区を調査
2023/5/31	土田、西川	2	1 地区の調査
2023/10/4	小泉清、土田、西川	3	2 地区里道の草刈り
2023/10/11	土田、西川	2	2 地区里道の草刈り
2023/10/18	横山・土田	2	枯死木調査　　枯れ松 2 本を確認
2023/10/25	土田、西川	2	枯死木調査松
2023/11/1	土田、西川	2	晴れ枝整理 4 地区
2023/11/8	土田、西川	2	里道の草刈り　市の草刈りが入る
2023/11/22	小泉清、西川、横山、土田	4	里道の草刈りほぼ完了
2023/11/29	土田、西川	2	里道の草刈り
2023/12/6	土田、西川、横山	3	里道の草刈り
2023/12/13	土田、西川、山口、横山	4	枯れ木にピンクテープを巻く ミヤコグサの草原草刈り
2023/12/27	易、土田	2	豊中市へ枯死木報告　枯れ松 7 本

2024 年計画　23 年同様毎週水曜、落ち枝林床整理を中心に行います。10 月は枯死木調査 6～9 月は休み
臨時休みは Line で連絡します。お手すきの方はぜひ参加してください。

4. 緑丘配水場トンボ池班　土田 泰子

配水場トンボ池調査　2023 年

月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
クロスジギンヤンマ			○						
ギンヤンマ				○	○	○	○		
シオカラトンボ			○	○	○				
オオシオカラトンボ			○	○	○				
ショウジョウトンボ			○	○	○	○	○		
赤トンボ SP								○	○
イトトンボ SP			○					○	
アオモンイトトンボ			◎	○	○				
アオイトトンボ						○	○	◎	○
キイトトンボ				○	◎	○			
ヤンマ系ヤゴ	○	○	殻	殻		○	殻 ○	◎	◎
トンボ科系ヤゴ		○	殻		殻		殻 ○		○
イトトンボ系ヤゴ		○	○						
マツモムシ	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○
コオイムシ					○			○	○
アメンボ		◎		◎					
ミナミヌマエビ				◎		◎	○	○	◎
コモリグモ								◎	○
トノサマカエル				◎	◎	○	○		
オタマジャクシ		◎		◎	◎				

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	計	平均
参加者（人）	6	3	11	10	5	8	8	10	8	69	7.7

◎は多く見つかったもの
12 月～2 月まではお休み
2024 年は同様に進めます。

5. モニター1000 調査班　熊代 直生

2023 年　モニタリング 1000（植物相）活動報告

活動日：基本的に毎月第三日曜　清掃ハイク時（8 月はお休み、計 11 回）

参加者：熊代直生、土田泰子、真野隆夫、横山智恵子、元山美千代、成田正則、北田勝章、小泉昌子、河原登子、日高千賀子、相良晶子、ビラ Jo、Chris アンダーソン、山口圭一（のべ 42 名）

調査結果：今年度より「第 5 期」の 5 年間の初年度。８月に日本自然保護協会に報告。この 1 月に 2023 年後半分を報告予定。

・2023 年に記録した種数

2023 年は木本 107 種、草本 97 種、シダ植物 12 種の計 216 種の蕾・開花・結実・胞子を確認した。木本の種数は比較的安定、草本の種数はいくぶん増加、シダは安定の傾向であった。

表１ 確認種数の変遷

調査年	木本	草本	シダ植物	合計
2018 年	104 種	105 種	5 種	211 種
2019 年	108 種	99 種	9 種	216 種
2020 年	109 種	108 種	9 種	226 種
2021 年	110 種	92 種	12 種	214 種
2022 年	108 種	90 種	12 種	210 種
5 年間累計	127 種	150 種	16 種	294 種
2023 年	107 種	97 種	12 種	216 種

・豊中市版植物レッドリスト掲載種の確認状況

去年は胞子が確認されたウラジロは、生育は継続しているが胞子の確認に至らず。去年新たに確認したサジガンクビソウ、コクランは、今年は開花・結実を確認できなかった。

・レッドデータブック豊中 掲載種の確認状況

（シダ）要保護Ａ：（胞子未確認ウラジロ）

（樹木）要保護Ａ：ザイフリボク、イソノキ、ヤマツツジ、マルバアオダモ、コバノガマズミ

要保護Ｂ：リョウブ、クロバイ

要注意：ハンノキ、ナツハゼ、ヤブコウジ、コウヤボウキ

（草本）要保護Ａ：ナンバンギセル、ツルアリドウシ、オケラ、オオバノトンボソウ　**要保護Ｂ**：オカトラノオ、ギンラン、シュンラン　**要注意**：スズメウリ

※以下、下線の二重線が要保護 A、単線が要保護 B、点線が要注意種を示す。

・2023 年新規確認種

(樹木)アケビ

(草本) ノミノツヅリ、スズメノエンドウ、ネザサ

(外来草本) コメツブツメクサ、キキョウソウ、ノボロギク、フリージア

※ネザサの開花がみられた。小規模なもので、一斉に枯死するようなことにはならなそう。

・2022 年に確認されていて、2023 年に開花・結実等を確認できなかった種

(シダ) ヤブソテツ

(樹木)サザンカ、ソメイヨシノ、ミヤコイバラ、カジイチゴ、マルバハギ、タラノキ、ヤブムラサキ、クサギ

(在来草本)クワクサ、エノキグサ、サジガンクビソウ、ヒヨドリバナ、キンラン、コクラン

(外来草本)シナガワハギ、ユウゲショウ、オオアレチノギク、タチチチコグサ、アスパラガス、ノシラン、キショウブ

・2023 年花ごよみ

・樹木ではスギ、ハンノキが 2022 年に引き続き 1 月に開花したほか、ツツジ類の 3 月開花もやや早めの印象。しかし 4 月、5 月に開花するものは比較的安定しているだろうか。6 月頃～秋にかけては、例年より遅めに開花する種類が多かった。

・草本でも 3 月、4 月にやや早めの種類が多く 6 月以降に遅めの種が多かった。5 月、9 月が比較的安定。

反省点と課題：

・6 年目となると、さすがに「以前どうだっけ？」と記憶が曖昧になって、花ごよみ右半の作成に苦労した（そのためチェックが不十分の可能性あり）。今後、新規確認・消滅についても、抜けが出てくるかもしれない。

・モニ 1000 の日本自然保護協会に、成果の活用事例として花ごよみを提示したところ、それなりに評判があって（他に活用例がないだけかも(^^;)）、第 4 期のとりまとめで紹介してもらえるそうです。その過程